

平成30年7月24日

政務活動費研修報告書

研修期日 平成30年7月15日～平成30年7月16日

研修項目

1. 原発被災 について
帰還が始まった! 現状
2. 原発被災地 ツアー について

研修内容

1. 原発被災帰還始まる、その現状 (1日目)

- ・ 強制避難は市町村の帰還状況
- ・ 帰宅困難地区の状況

2. 原発被災地ツアー (2日目)

福島市 - 川俣町 - 山木屋道の駅(川俣町) - 浪江町(津島地区)

← 浪江町請戸地区 - 双葉・楢町 - 富岡町道の駅 - 四谷道の駅
- 福島

(例)
放射能線量計持参: 福島市駅前付近 - 3.7μSv
浪江 1.814μSv. 非常に高い値である。

(年1msvを超えない値を2.3.)

報告者

(氏名)

高浦康彦



平成 31 年 2 月 13 日

政務活動費研修報告書

研修期日 平成 31 年 2 月 6 日～平成 31 年 2 月 6 日

研修項目 1 栃木県 下野市庁舎 について
2 視察 について

研 修 内 容

平成 28 年 1 月 29 日に完成した、下野市庁舎を視察した。

当庁舎は、志木市の新庁舎の基本設計から実施設計を予定している。

業者は、平成 23 年 8 月に設計者・造園公募型プロポーザルを募集し基本・実施設計を（株）佐藤総合計画に委託し、施工会社は、大成、小林、前原、特定建設工事共同企業体で実施された。

庁舎の正面に立ち、圧巻したことは両側付正面から 1F～4F まで枠組の柱を除去した総ガラスであることに驚かされた。

建物工事費 45 億 7800 万円、敷地面積 21,394 m²

延床面積は庁舎棟 9,741 m²（他附属棟 1,049 m²）とあり、庁舎の設計構造となっている。但し総ガラスについては安全性に疑問を覚えた。

報 告 者 (氏名)

高浦 康彦 